

# カーテクノロジーの革新

(101,294 千円)

## 自動車関連産業クラスター支援事業 (国・県・受・他 101,294 千円)

### 【事業目的】

現状	○自動車産業は、デジタル革命の自動車版“CASE”(ツナガル、自動化、利活用、電動化)の潮流を受け、100年に1度の大変革期を迎え、自動車産業サプライヤーは、従来から抱えるコストダウンや人手不足などへの対応の他、完成車メーカーのモジュール化戦略(部品の共通化や開発過程の効率化等)への多様かつ困難な課題への対応が迫られている。
課題	○金属加工や樹脂成型など素形材技術に強みを持つ地域自動車産業サプライヤーが、新分野領域(CASE 領域)へ対応するためには、自社固有の技術であるファンダメンタル領域(軽量化、NVH、熱マネ、質感など基軸領域)について、更なる技術力の強化が必須となる。
目的	○経産省、広島県、ひろしま自動車産学官連携推進会議などと連携を図り、地域自動車産業サプライヤーの研究開発能力の底上げを図り、「県内外に価値ある提案ができる企業群」の形成を目指し、技術提案力強化を支援する。

### 【事業概要】

本県の基幹産業である自動車産業の持続的な発展のため、県と連携し「カーテクノロジー革新研究会」「新技術トライアル・ラボ」「ベンチマーキングセンター」を運営することに加え、「ひろしま自動車産学官連携推進会議」の主管団体として、中国経済産業局、広島県、広島市と連携して活動することにより、戦略的な支援体制を整備し、自動車メーカーの要素技術を対象に県内での事業化が期待される研究開発や人材育成を引き続き支援する。

事業項目	概要																								
基盤強化	○従来から取り組んでいる「自動車工学基礎講座」などに加え、CASE 領域等デジタル技術への対応を可能とするための「自動車制御系セミナー」やファンダメンタル領域の研究開発能力向上のための「実験計画法セミナー」などを新設し、地域自動車サプライヤーにおける自動車産業サプライヤーの研究開発をリードする人材の育成を支援する。																								
競争優位	○地域自動車産業サプライヤーの技術開発の基礎となる他者技術の動向調査(ベンチマーキング活動)について、EMC 領域(電気ノイズ対策)の性能ベンチマークやファンダメンタル領域の基本機能調査などを加え、地域特性を活かした技術提案力の強化を支援する。																								
価値創造	<p>○自動車メーカーの要素技術を中心とした技術構想(研究計画)について、ファンダメンタル領域を研究テーマとして企画立案や予備的な実験等を行い、新しい技術の芽を生み出す役割を担うとともに、「領域別研究開発カステップ」(①基礎研究/メカニズム解明 ②モデル化 ③改善構造開発 ④自動車メーカーへの提案コンセプトの明確化)を KPI とし、研究開発リソースの大部分を量産対応に投入せざる負えない自動車産業サプライヤーの先行開発を支援する。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>領域別研究開発カStep</th> <th>エンジニアのSkill</th> <th>備考：具備条件、等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑤革新技術開発</td> <td>新設計パラメータ導出</td> <td>革新的構造～製品化ができる</td> </tr> <tr> <td>④「OEMへの提案」</td> <td>最適解導出</td> <td>QCDE全ての最適解が出せる</td> </tr> <tr> <td>③「改善構造開発」</td> <td>改善策導出</td> <td>CAEが使いこなせる</td> </tr> <tr> <td>②「モデル化」</td> <td>課題抽出</td> <td>CAEモデルが作成できる</td> </tr> <tr> <td>①「メカニズム解明」</td> <td>基礎知識</td> <td>基礎研究が推進できる</td> </tr> <tr> <td colspan="3">研究開発投資 (研究開発機能の存在)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">技術課題 in 経営戦略</td> </tr> </tbody> </table>	領域別研究開発カStep	エンジニアのSkill	備考：具備条件、等	⑤革新技術開発	新設計パラメータ導出	革新的構造～製品化ができる	④「OEMへの提案」	最適解導出	QCDE全ての最適解が出せる	③「改善構造開発」	改善策導出	CAEが使いこなせる	②「モデル化」	課題抽出	CAEモデルが作成できる	①「メカニズム解明」	基礎知識	基礎研究が推進できる	研究開発投資 (研究開発機能の存在)			技術課題 in 経営戦略		
領域別研究開発カStep	エンジニアのSkill	備考：具備条件、等																							
⑤革新技術開発	新設計パラメータ導出	革新的構造～製品化ができる																							
④「OEMへの提案」	最適解導出	QCDE全ての最適解が出せる																							
③「改善構造開発」	改善策導出	CAEが使いこなせる																							
②「モデル化」	課題抽出	CAEモデルが作成できる																							
①「メカニズム解明」	基礎知識	基礎研究が推進できる																							
研究開発投資 (研究開発機能の存在)																									
技術課題 in 経営戦略																									

**【年間目標】**

指標	目標
人材育成事業地域企業 定着度	54% 自動車工学基礎講座における2年連続受講企業数割合
ベンチマーキング活動部品 持ち帰り率	36% 協議会メンバー企業数の部品持ち帰り企業数割合
領域別研究開発カステップ 企業数	①メカニズム解明のステップへ上がった企業数 1社 ②モデル化のステップへ上がった企業数 6社